

## 「ひめのか」の特性について

果樹試験場では、本県の気候風土に適し、消費者ニーズに即した優良なカンキツ新品種の育成を目的として、交雑育種を続けている。

今回、新しく育成した高糖系温州ミカンを「ひめのか」として、平成16年3月に種苗法に基づく品種登録申請した。

「ひめのか」は、昭和63年に「大津4号」と「ハムリン」の交配により育成した、大津4号の珠心胚実生で、平成10年に系統名を「愛媛29号」として一次選抜したものである。

樹勢は強く、樹姿は結果期になると直立と開張の中間となる。若木や高接ぎ当初ではトゲが発生する。生育初期段階では枝梢の成長が旺盛で、結実始めが他の温州ミカンより1年遅れる傾向があり、隔年結果性は強い。

果実は120g程度で、果形は扁平、玉揃いは良い。浮皮の発生は大津4号より少ない。成熟期は12月中～下旬で、糖度は13度程度、



写真1 ひめのかの結実状況

クエン酸は0.7%程度となり、大津4号よりも減酸が早い。

年末から年明けに販売する普通温州として期待され、本県の主な普通温州である「南柑4号」の後継品種として普及を図りたい。

早ければ平成17年春には許諾手続きを経て穂木を供給できるものと考えている。

普及に当たっては、樹勢が強く、隔年結果しやすいため、適正な着果管理が必要であるので、留意願いたい。

なお、栽培特性等のデータ蓄積のため、県内各産地で栽培適応性試験を開始したところである。

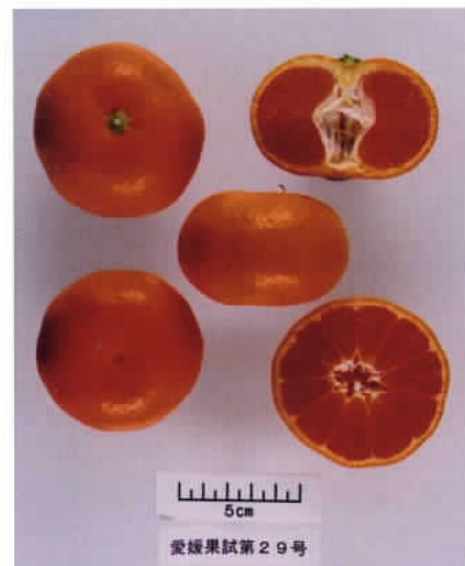


写真2 ひめのかの果実

(育種班 主任研究員 中田治人)

表1 「ひめのか」の果実品質

分析日	品種名	1果重 (g)	果形指数	果肉歩合 (%)	浮皮程度	着色歩合	糖度	クエン酸 (g/100ml)
13.11.28	ひめのか	125	161	80.2	軽	9.3	13.4	0.84
	大津4号	122	150	72.9	中	7.7	12.5	1.15
14.12.10	ひめのか	125	144	78.8	無	8.7	16.3	1.58
	大津4号	114	142	71.3	無	9.7	16.3	1.70
15.12.11	ひめのか	114	143	75.9	無	10.0	12.9	0.73
	大津4号	133	136	73.6	無	9.3	13.9	1.65
	南柑4号	122	141	74.3	無	10.0	11.7	0.78